



議会だより

なおしま

2026
No.214
令和8年1月13日

発行 ● 香川県直島町議会
編集 ● 広報編集特別委員会
電話 ● (087) 892-2297
印刷 ● 山陽印刷(株)



連合自治会 防災講習

明けまして

おめでとうございます

議 副 議
員 長 長

〃 〃 〃 〃 〃 〃



浜口 敏夫
宮原 三郎
中根 清孝
西岡 裕喜
小野 孝一
山下 玲子
松島 俊雄
山上 英一
井下 良雄



「敬老会」対象年齢の引き下げを
(町長・教育長報告) … 2・3P

オーバーツーリズム対策 他(一般質問) … 4・5P

今年は園児も参加(委員会レポート) … 6P

四国汽船との意見交換会 … 7P

中学校1日議会体験学習 … 9~11P

なおしまキッズポート(がんばりよるで) … 12P

敬老会の対象年齢を 引き下げれば



小林町長

老人会と
協議したい

(主なもの)

- 9月2日 マンダリンオリエンタルホテル瀬戸内ー直島新築工事の地鎮祭に参列しました。
- 9月14日 令和7年度香川県消防操法大会に第1分団が小型ポンプの部に出場し、これに同行しました。
- 10月2日 敬老会を総合福祉センターで開催しました。
- 10月2日 秋篠宮皇嗣妃殿下並びに佳子内親王殿下が瀬戸内国際芸術祭2025御臨席のため来島され、お出迎え及びお見送りをしました。
- 10月25日 「なおしま環境フェスタ2025」が海の駅「なおしま」のかぼちゃ広場で開催され、約900人の来場者がありました。
- 11月6日 第42回直島中学校1日議会体験学習が開催され、中学3年生から19件の一般質問がありました。
- 11月6日 県道北風戸積浦線電線共同溝事業（無電柱化推進事業）に係る地元説明会に出席しました。
- 11月9日 瀬戸内国際芸術祭2025の秋会期クロージングイベント「お見送り」を海の駅「なおしま」で開催しました。
- 11月12日 三菱マテリアル直島製錬所の清谷所長他が操業状況等の報告のため来庁されました。

主な質疑

対象年齢の検討を

Q (浜口) 今年の敬老会の出席者は、131名であり、客席に余裕があった。現在77歳以上の対象年齢を下げる検討をしたらどうか。

A (町長) 担当課、老人会と協議したい。



空席が目立った敬老会

無電柱化推進事業

Q (西岡) 宮ノ浦地区の県道を計画しているとのことだが、役



無電柱化で広がる

場から本村港までの道路も必要だと思うが。

A (町長) 現在予定されている所は県道で、県と中国電力の事業。質問の道路は町道なので、町の予算でやるのは厳しいと思う。

Q (山上) 工事の完成見込みは。

A (町長) 工事は令和10年度からの予定だが、完成時期は未定である。

Q (浜口) 地元説明会ではどのような意見がでたのか。

A (町長) 電柱撤去後の街灯についての質問があったが、反対の意見はなかった。

齊土の坂拡幅は

Q (松島) 道幅が狭く見通しが悪い齊土の坂、拡幅の見通しは。

A (町長) 地権者に話をしたが、売らないとの返事だ。

三菱マテリアルの
操業状況等

Q (浜口) 直島製錬所の増産工事等進捗状況については、議会にも報告をお願いしたい。

A (町長) 議長と連名で依頼する。

アイランド2025

Q (中根) 直島への移住希望の相談はあったか。

A (まち観課長) この事業は町のPRと特産品の紹介販売が主であり、移住希望の相談は受けていないが、町内企業の求人情報は掲示した。



津山教育長

町民の皆さんにも
PRしたい

直島一周ごみ拾いツアー すばらしい取り組み

(主なもの)

- 9月27日 中学校生徒会が実施する「直島一周ごみ拾いツアー」が開催され、グループと共にごみ拾いをしました。
- 10月24日 県指定外国語教育推進モデル校事業として中学校で英語の授業が公開され、1年生がインドの小学校5年生と英語でオンライン交流をしました。
- 11月3日・4日 教育文化祭が開催されました。
- 11月6日 中学校1日議会体験学習が開催されました。
- 11月13日 部活動の地域展開準備会が中学校で開催されました。
- 11月20日 県小・中学校教員配置制度を改定する説明会が開催されました。
- 11月27日 讃岐地区教育長会並びに東部教育長会が開催されました。
- 11月29日 小・中学校による「Meet the World」が小学校及び家プロジェクト、ベネッセハウスで開催されました。



中学生直島一周ごみ拾いツアー

Q
(西岡) 中学生のごみ拾いツアーは

直島一周ごみ拾いツアーに
町民の皆さんも

主な質疑

- すばらしいことだ。子どももの頃からの環境への習慣は身に付くと思う。いつ頃から行なっているのか。
- A** (教育長) 平成12年から実施している。
- Q** (浜口) 中学生の活動を見ていた観光客がとても感心され、これからもぜひ続けてほしいと言われた。
- この活動はふれあい通信でも放送しているが、町民の参加がほしい。中学生と一緒に活動し
- てもらえればと思うが。
- A** (教育長) 中学生もボランティアで活動しており、ライオンズクラブの方も毎年参加している。直島の美しい環境を守るためのこういう取り組みは、大変素晴らしいと思う。
- 町民の皆さんにもPRしたい。
- Q** (西岡) 英語の公開授業で、中学生とインドの小学5年

インドの小学生と
オンラインで交流

- 生がオンラインで交流したとのことだが、直島の子どもたちは活発に交流できていたか。
- A** (教育長) 指定外国語教育推進モデル校は、直島中学校の他に1校が指定を受けている。
- 他校の中学生に比べ直島の生徒は、相手の言うことをよく理解できたうえで、自分の伝えたいことが言えていたので、本当のインターネット交流ができていたとの県教委の評価だった。

部活動地域展開の状況は

Q (中根) 直島の部活動の地域展開は、どんな状況か。

A (教育長) 剣道部と柔道部はスポーツ少年団に委託している。で、休日平日とも完全に地域展開ができています。バドミントン部は4月から学校外活動を開き、夏以降は地域展開ができることになっている。

教員の配置数の状況は

Q (中根) 教員の配置制度の改定で、当町の教員配置はどうか。

A (教育長) 教員の配置は、基本的には学級数に基づいて決まる。

香川県の場合、通常の学級と特別支援学級を足した数で決まっていた。最近は年々特別支援学級が増えてきているが、当町では、子どもの数が少ないので影響は全くない。

直島に対する感想は

Q (松島) 「Meet the World」に参加した18人のALTの直島に対する感想はどうだったか。

A (教育長) ALTの様子を見ていると、とても和やかで子どもたちにもあたたかく接しており、気持ちよく活動していた。家プロジェクトなどでは直島の魅力が大変楽しんでいたと思う。

3人が登壇 問う

おいて作成しています

次期瀬戸芸の安全対策を

〔町長〕改善を検討する



西岡 議員

春・夏・秋と過去最多の来島者が当町を訪れ、盛況のうちに終了した瀬戸芸を大変うれしく思う。関係各位のご尽力に対し、感謝申し上げる。

一方で、来島者の増加に伴い、ゴミのポイ捨て・自転車の並走やながら運転等、マナー・交通違反行為が顕在化。改善を求める町民の声が多く寄せられている。

次期瀬戸芸に向け、3点質問する。

①県実行委員会に、ガードマン増員に必要な予算を強く要望してほしい。

②県警北署に、交通指導パトロール強化の実施をお願いしてほしい。

③宮浦港周辺の混雑対策について、複合施設も建設され、さらなる混雑が予想される。安全確保のために、横断歩道の設置は有効だ。

3年後、小林町長であるなら、町民の声に耳を傾け、安全対策をどう推進するか。



（町長） 今回の瀬戸芸は、来島者が過去最高を記録、フェリーの積み残しやバスの混雑等、オーバーツーリズム状態だった。

今回の課題を、関係機関と連携し、以下の対策を検討している。

ガードマン増員と指導パトロールについては、県・警察・ベネッセ・四



過去最多の来島者

国汽船等の関係者と早い段階から協議、次期瀬戸芸に向けて改善策を検討する。

また、宮浦港周辺の混雑対策について、横断歩道設置は大変重要だ。関係者との協議を考えている。

「3年後の町長が小林の場合」だが、来年4月に町長選挙が予定されている。複合施設建設・三菱マテリアル増産計画・マンダリンオリエンタルホテル建設・四国汽船・宿泊税等、諸課題が山積の時期であり、3期目を目指す決意をしている。

落石防止対策を

〔町長〕現地を確認し検討



中根 議員

県道北風戸積浦線の幼児学園横から宮ノ浦池横までの山側斜面が風化のために岩肌がむき出しになっており、大小さまざまな石が落ちてきている。道路まで落ちてくれば、自転車・バイクなどが踏んで転倒し、大けがの恐れもあり大変危険だ。また、南海トラフ大地震が発生した場合には、大災害も容易に考えられる。落石を防止できるしつかりとした対策を望む。



（町長） 落石対策には一般的に、発生を防止するために行なう予防対策・発生した落石を待ち受けてその動きを止める対策・通行車両等に落石が当たらないように誘導する防護対策に

分けられる。質問の箇所の対策については、面の高さや石の大きさ、土地の所有者など現状を把握したうえで、適切な対策を検討する必要がある。対策の方法や範囲によっては大規模な工事となり、直ちに対応することが難しく、重要性や緊急性についてまず、道路管理者である香川県とともに現地を確認し、必要な対策について検討していく。町としても、町道もあるのが県道のみならず安全で安心して通行できるように、今後とも道路の維持管理に努める。



早い対応を



（中根）現状としてすでに落石は始まり、さまざまな石が落ちてかなり危ない状態になっている。担当課も県の担当と一緒に視察をして、なるべく早い対応を望む。

町政を

内容は質問者の責任に



山上 議員

6回目の瀬戸内国際芸術祭も大盛況のもとで閉幕し、直島への来場者は前回の2倍の33万8千人の方が訪れたと実行委員会からの発表があった。瀬戸芸期間中は実行委員会や、町の予算で交通誘導員が港や本村地区に配置されていた。また、瀬戸芸以外の繁忙期では町の職員やベネッセの関係者で対応しているが、それ以外の期間はありません。常設の作品の多い

オーバーツーリズム対策を

〔町長〕協議しなければならぬと思っている

直島では新美術館の完成もあり、今後も瀬戸芸期間外でも多くの来島者が予想され、週末はオーバーツーリズムとなり、港や主要各所での交通整理などに瀬戸芸並みの対策が必要ではないかと考える。



大型バスでいっぱい

多くの町民は、港や道路での状況や時には居住空間への侵入や写真撮影などに辟易としている。商業観光複合施設の建設などで町財政が厳しいなか、歳出のスクラップアンドビルドを行なうことはもとより、多くの来島者がいる今、観光税（入島税）など新たな財源の確保について真剣に検討すべき時期ではないか。

A (町長) 入島税については、以前に

答弁したように観光動向への影響、住民、事業者、来島者との利便性や公平性に加え、直島独自の地域性から慎重に期すべきと考えている。

なお、現在香川県や小豆2町などが宿泊税の導入について検討しているが、仮に県が宿泊税を市町に交付するようになれば、本町も宿泊税については検討したい。

Q (山上) 瀬戸芸期間外のオーバーツーリズム対策についての答弁がないが。

A (町長) ベネッセ・福武財団・四国汽

船など、いろいろなところと協議をしなければならぬと思っている。

Q (山上) こういった状況から体調を崩し、通院している町民もいる。

町としてそういった声に耳を傾ける必要があると思う。予算を計上し、警備会社に委託するなど考えるべきだ。

A (町長) ガードマンを雇うにしてもずっとは無理だし、どこが雇うかという問題もある。協議は必要だと考えている。

Q (山上) 次に入島

税の導入について以前町長は、今は検討する時期ではないとの答弁だった。しかし現在、状況も変わっており、また、直島の場合、日帰りの観光客が圧倒的に多く、宿泊税



臨時便へ移動中

より入島税の導入が効果的と考えるが。

A (町長) 税の公平性の観点などから入島税は無理だと考えている。

(山上) 検討せずに無理だという答弁は大変残念だ。

町財政厳しいなか、町民がオーバーツーリズムで大変困っている。新たな財源をこの対策に役立てればと思質問した。

議会として、入島税については今後も訴えていきたい。

条例改正

火災予防条例の一部を改正する条例制定

趣旨

消防庁が取りまとめた大船渡市林野火災を踏まえた、消防防災対策の報告書において、林野火災の注意報や警報の的確な発令等によって、林野火災予防の実効性を高めることが必要であるとされたことから、本条例の一部改正をするもの。

主な改正点

・町長は、気象の状況により、火災予防上注意を要すると認めるときは、林野火災に関する注意報を発することが出来る。

・町長は、火災予防を目的として火災に関する警報を発したときは、火災の発生の危険性を勘案して、火の使用の制限の対象となる区域を指定することが出来る。

委員会レポート

経済・民生

総務・文教

11月17・18日の両日、合同常任委員会を開催し、各課からの報告を受け、議論を交わしました。主なもののみ報告します。

山下 委員長

中根 委員長

今年は今 園児も参加

中学校1日議会 体験学習開催

A 状態の疑いの時は来る前に連絡し、発熱外来

Q 付に行く注意を受けた。

(前年度 145人)

時間外救急患者数

(前年度 6669人)

外来患者数6052人

(前年度 292人)

入院患者数 55人

令和7年度診療状況
10月末

〔診療所〕

サロ事業売上金額
1日平均19399円
キッズポート利用者数
1日平均15・8人

社会福祉協議会事業
10月末

(令和7年7月末 2888人)

令和7年10月末 2884人

住基人口

〔住民福祉課〕

へ移す流れとなっている。

「環境フェスタ2025」
来場者数
延べ約900人
エコクイズラリー

9月18・19日
フリージア球根配布
447袋

エコアイランド推進委員会
10月末

参加者 4組10人

〔環境水道課〕

幼児食セミナー
10月5日

〔健康推進室〕

営業日数
入園者数
1447人

9月26日
参加園児 21人

キジハタ稚魚4千匹放流
10月末

186人参加

〔建設経済課〕

入学式・入園式の日程
中学校 4月8日
小学校 4月9日
幼児学園 4月10日

〔二十歳のつどい〕

福祉センター劇場で開催

〔山上〕新年度より「子ども誰でも通園制度」が全国で運用されるが、町ではどのような運用を考えているのか。

〔教育委員会〕卒業式・卒園式の日程
中学校 3月13日
小学校 3月16日
幼児学園 3月17日

〔教育委員会〕

〔教育委員会〕

〔教育委員会〕

町村で実施されるもので、本町では子ども子育て支援事業計画に沿って、8年度より幼児学園において利用定員2人を見込んで実施する。

10月末現在 257件
2384万4千円

ふるさと納税

〔デジタル推進室〕

NHK交響楽団メンバーによる金管五重奏演奏会

11月8日

〔まちづくり観光課〕

消防団出初式

11月11日

消防団年末警戒

12月27日～30日

中学校1日議会体験学習

11月6日

幼小中合同避難訓練

10月24日

〔総務課〕



移住フェア

〔税務課〕

〔小野〕原付バイクが50ccから125ccになる

〔課長〕新規格で125ccになって

も50ccの原付バイクと同じだ。ナンバープレートも変わらない。

〔教育委員会〕

〔教育委員会〕

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計

〔課長〕現在の町の状況や企業の人材募集とかを説明した。参加人数は3ヶ所合計



大きくなってね



金管五重奏演奏会

四国汽船と意見交換（総務・文教常任委員会）

11月26日、2回目の四国汽船からの報告会を開催。四国汽船から田邊専務、清板宮ノ浦支店長、執行部

からは町長、副町長、担当課長の出席をいただいた。

はじめに田邊専務より「前回出席した後、会社としても社内改革を進めています。

船員に関しては、入社はするがすぐに辞める。労働密度が高すぎて定着できない状況です。

安全運航に関して、4月に岸壁の接触事故があり、さらに8月に高速艇で定員超過が発生しました。海上輸送において

は厳しく処置され、今後事故等起こすと運航停止もあると、通達をいただいています。

安全のためには、たとえ同じグループでも定員となれば止めないといけない。

運賃改定は、11月27日に運輸局へ、4mから6mの車輛について値上げ申請します。人の運賃は

町民の生活航路としての自覚を

370円になります。ただ町長から『住民割は確保してくれ』と、ご指摘をいただいております、以前よりは割引率を上げ20%です。住民割で往復60

0円、車輛は4m未満は3840円、5m未満が4920円と割引率を上げ申請ご理解ください」と報告があり、意見交換に入った。

西岡委員「実質、値上げはいつからか」

専務「2月1日からで発表させていただきたい」

山上委員「前回、運賃

改定を国へ申請するも宇野便は認めてくれず協議中で、決まれば相談する

とのことだったが、町長・ベネッセ・三菱マテリアルへは相談していた。我々議会は町民の代表、

応にし、住民専用ボタンを付け現金でも利用可能にする。クレジットや交通系カードも利用できる。

中根委員長「現在の回数券は2月1日から使用

できなくなるのか」

支店長「2カ月の有効期間があるので、1月31日に買えば2カ月間有効

だ」

浜口委員「小型船の

レッドバードの活用は」

専務「現在、三重県に貸し出している。走らそうにも船員がいな

い」

中根委員長「前回、高松航路は赤字で、宇野航路は黒字だから運賃改定はできないとの

説明だったが、今回は認可が下りた。宇野航路も赤字ということか」

専務「宇野・高松、

分けてみると確かに宇野航路は利益が出てい

る。しかし会社として

は赤字なので、今回の値上げになった」

中根委員長「四国汽

船に関しては、町民の生活航路としての自覚

をしっかりと持ってい

ただき、今後ともよろしくお願いしたい」

と結んで会を終了した。

（中根 記）



四国汽船と協議

令和7年度補正予算

一般会計

歳入歳出予算の総額にそれぞれ3575万円を追加し、予算総額は35億6106万円となりました。

●歳入の主なもの

●地方交付税 771万円追加

●前年度繰越金 2804万円追加

●歳出の主なもの

●工事請負費 庁舎発電機等更新 3575万円追加

特別会計

（介護保険事業）

●歳入の主なもの

●介護保険事業費補助金 介護保険システム改修費 174万円追加

●前年度繰越金 179万円追加

●歳出の主なもの

●委託料

●介護保険システム改修業務 353万円追加



北島町議会議長があいさつ

- 公共交通が縮小している
 - 空き家が増えている
 - 独り暮らしの高齢者が増えている
 - 消防団員・民生委員などのなり手不足
 - 自治会役員のなり手不足
- など、地域の問題を議会では住民と意見交換の場をもつて、住民主体で課題解決に取り組むことが住民自治の成熟につながるという内容でした。

10月16～17日の2日間、「第11回全国コンパクトタウン議会サミットin北島」に参加するため、徳島県北島町に議員全員で行ってきました。

当町含め他府県から、14の町村議会が参加しました。

開会式の後、はじめに講師の中村健氏から「人口減少&AI時代の地方議会の役割」と題して講話がありました。



熱く語る中村健氏

住民と意見交換の場を持つて

分科会

次に、各町が3分科会に分かれ、3つのテーマで意見交換を行いました。

第1分科会

「地域公共交通の在り方」
参加町は当町以外全て陸上の公共交通に対する問題定義で、デマンドバスやコミュニティバスなどの現状と課題を報告。当町はフェリー・小型船の現状について説明しました。

第2分科会

「大規模災害への対応」
ハザードマップの整備や避難所の特定などはどこも同じでし



各分科会 熱心に意見交換

たが、人口3千人の3日分の食糧を備蓄しているのは当町だけでした。

第3分科会

「人口動態からの子育て支援」
放課後の子ども預かりや出産祝金、給食費や18歳までの医療費無償化など、どこも似通った施策内容でした。

災害に対する備え

2日目、徳島県立防災

センターでは、大月倫子氏による「コンパクトタウンの防災～北島町の場合～」というセミナーを受講しました。

起きてしまったら：

○とにかく逃げる（意図しない場所が避難所になる可能性がある）
○大災害の対応は、みんな経験値が少ないので応援が不可欠

○県や近隣の町との連携や団体・企業との協定を確立し「助けて」と言える体制を作る

○災害対応は町職員にしかできない（避難指示の判断↓それを放送↓被害状況を調べ、避難所開設）ので、町職員を守ることが町民を守ることに直結する

○最終目標は町の存続、元の生活にいち早く戻すこと
講師の体験に基づいた話は大変わかりやすく、参考になりました。

この後、県立防災セン

ターで震度7の地震体験や風速30メートルの風体験もしました。

今回の研修で得た知識や体験は、いざという時必ず役に立つので、忘れることがないように記して結びといたします。

山下 記

表彰

自治功労で表彰

四国地区町村議会議長会会長から、地方自治の振興発展に寄与した功績に対し、松島議員が表彰されました。



松島 議員



11月6日、中学3年生による1日議会が開催され、19の質問で町政を問いました。

再質問もあり、有意義な議会体験になったと思います。

皆さんに感想文を書いていたいただきましたが、紙面の都合上9人の生徒の感想文を紹介します。



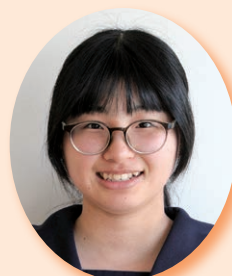
生徒代表あいさつ
塩入 大聖さん

歩行者の反射材用品の着用について

1日議会体験学習を通して、私は、日頃から議員の方々は直島町のために改善するところを考えて、直島町執行部が丁寧に回答して、よりよい町づくりを行っていることが改めてわかりました。

また、私たちの意見に対して対策も含めて、丁寧に回答してくださり、とても理解がしやすかったです。直島の景観のことまで考えて述べていたので、すごいと思いました。自分の番がくるときは、手をまっすぐに「はい。議長」と聞こえるように言うことができました。

最後に1日議会体験学習という貴重な体験を開催してくださり本当にありがとうございました。この体験で学んだことや大きな声で返事をするということをこれからの生活に活かしたいと思います。



おおつか ゆずは
大塚 由珠葉さん

県道256号線の自転車道について

1日議会体験学習では、中学生の考えてきた質問を誠心誠意受け止め、本当の町議会のようにしてくださり、とても貴重な時間を過ごすことができました。私の議案では、県道256号線の自転車道の幅が広げられないが、自転車に乗っている方が安全に走行できるように道の修復について県と協議をしてくださっていると知り、安心しました。また、現場の状況に合わせて、自転車にタグホルダーをつけたり、レンタサイクル事業者の方々と連携したりしているということも知れてよかったです。本当に貴重な体験をありがとうございました。



きくち らいと
菊地 礼人さん

町の地域活性化について

私は、今回の議会体験を通して、議会の進行の仕方や雰囲気についてよくわかりました。また、中学生が今の直島に対して考えていることを発言するとともに、町のことについて深く考えることができました。直島の活性化についても調べることで自分が知らなかったことを知ることができました。他の人の発言を聞いて普段その観点について考えなかったことも考える機会ができました。私たちが充実した生活をするために、しっかりと自分たちで調べることの大切さや、生活に関わるさまざまなことを、多くの人が意見を出し合って成り立っているということも実感することができました。



さかぐち うみ
坂口 羽海さん



爲平 議長

道路の案内板設置について

今回の議会体験学習では、実際に自分たちで議員席に座ったり、討論の流れを体験したりして、見学だけでは分からなかった議会の仕組みを深く理解することができました。私は議員になりきってみて、意見をまとめる難しさや、相手の話をしっかり聴くことの大切さをとても実感しました。議会の雰囲気は緊張感があり、発言するだけで勇気が必要だと感じました。この体験を通して、地域のことを考える人たちの責任の重さを知り、政治が少し身近に感じられるようになりました。普段から地域のことについて考えたり、勇気を出して発言したりしながら、今後の生活に活かしていきたいです。



たきもと なつみ
瀧本 夏海 さん

町の医療体制について

私は、この1日議会体験学習を通して、町への安心感が強まりました。一つ一つの案にたくさんの人がより良い方法は何かと考えており、あたりまえのことに思っていたのですが、改めてすごいと思いました。また、「議会」という言葉からとても堅苦しいイメージを持ち、とても緊張していました。しかし、町長をはじめ、町執行部の方々が優しく迎えてくださったおかげで、堂々と自分の意見を伝えることができました。

今後、もし、直島での暮らしに疑問や提案が浮かんだときは、町役場の方々に伝えてみたいとも思いました。そして、いつかは、私自身が議員になって、直島をよりよい町にできるように頑張りたいと思います。



しおいり だいせい
塩入 大聖 さん

観光客の自転車の乗り方について

中学生の視点から直島に今何が必要なのかを考えながら、防災や交通など身近な話題について質問させていただきました。さまざまな意見を伺う中で、一つの問題にも多様な立場や考え方があり、メリットとデメリットの両面を踏まえて判断することの難しさを学びました。特に、直島は観光地として多くの方が訪れる地域でありながら、住民の暮らしを守るという責任もあります。その両立の重要性和調和の難しさを改めて実感しました。また、議長職の体験では、議長や事務局長からの丁寧なご指導をいただき、会議を円滑に進められるよう努めました。堂々と議長の職務を果たすことができて良かったです。今回の議会体験学習を通して、町を支える方々の努力を知り、地域の一員として自分の考えを持つことの大切さを強く感じました。これからも直島の一員としてできることを考え、積極的に行動していきたいです。

ほんとうに貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



ためひら あやの
爲平 彩乃 さん



井野川 議長



町の防災体制について



なかね ろっか
中根 六花 さん

町が今よりもよい町になるよう環境整備や医療体制、防災体制などについての町の意見を聞くことができ、とても良い機会になりました。特に自然災害が発生した際の外国人をはじめとする観光客への対応などを、どのように計画をされているのか、訓練の実施状況について知ることができて良かったです。

このほかにも、今後の明るい直島町のためにたくさんの町のご意見を聞かせていただくことができ、とても勉強になりました。私は1日議会体験学習を通して、自分たちができることはやっていこうと思いました。

町内の街灯の設置について



なるせ
鳴瀬 さくら さん

この学習を通して、話し合いの大切さを学びました。直島で改善してもらいたいことを、町長をはじめ、町執行部の方々の前で発言することはとても緊張しました。私の質問に対して、直島が過去に行なってきたことや現状、課題を踏まえて、どうしていくかを話してくださったので、とても分かりやすかったです。私の質問は、街灯の設置についてでしたが、電柱があるところにしか設置することができない、予算も考えなければならないという回答で納得しました。他の人の意見を聞くことで、私にはなかった考え方や視点に気づくことができました。

これからは、直島のことにもっと関心を持ち、自分なりの意見を持てるようにしたいです。

夏祭りがなくなったことについて



はらぐち なる
原口 七瑠 さん

私は、この体験を通して、町執行部の方々や議員の方々が、普段、町民のことをどれだけ考えてくださっているか身をもって感じることができました。私たちの意見に答えてくださるときも前もってさまざまなことを調べて答えてくださっており、すごいなと思いました。また、たくさんの意見がでて、なんでもかんでも実施するのはとても難しいことなんだと思いました。私も町のために直島一周ゴミ拾いツアーやお祭りへの参加など、小さなことでもできることからやっていきたいです。



後列右から
菊地さん
植松さん
山名さん
杉峰さん
前列右から
久保さん
山本さん



植松清華 さん

今回ご登壇いただくのは、福祉センター内でがんばりよる、なおしまキャップポートの皆さんです。
Q 植松さん、こんにちは。本日はよろしくお願ひします。まずはじめに、いつ発足しましたか。

A (植松) 2020年3月に一般社団法人キャップポートが発足し、同年6月になおしまキャップポートが開室しました。

Q 現在、スタッフは何人おられますか。お名前は何ですか。
A (植松) なおしまキャップポートのメインスタッフは、山本里美、菊地瞳、久保瑛子、杉峰歩、山名めぐみ、大岸夏子、私の7人です。

Q キッズポートを利用できる対象者はどのようになっていますか。
A (植松) これから赤ちゃんを迎えるご家族、未就学児を対象とした居場所ですが、小学生以上

Q キッズポートを利用している方、仕事ができるのでしょうか。特に大変だと思ふことはありますか。
A (植松) 私も愉しんで仕事ができているので、特に大変だと思ふことはありません。

Q 逆にうれしかったことや心に残ったことはありますか。
A (植松) 「子育てで大変な時期にキャップポートがあったから救われました」と利用者の方の言葉に、とてもうれしく感じ、ぐっと胸が熱くなりました。

Q 利用される方や父兄の反応はどうですか。
A (植松) 天候などに左右されず、安心して遊べる場はとても助かると言っていただけです。子どもたちも楽しそうに遊んでくれています。

Q 今後の活動について
A (全員) キッズポートを利用してくださることで、皆さんに直島町での子育てが、より愉しく、充実していると感じていただけるよう、スタッフ一同、これからも創意工夫しながらキャップポートを運営していきたいと思っています。いっぱい遊びに来てくださーいね！

いつでも安心して立ち寄れる居場所



A (植松) 「子育てで大変な時期にキャップポートがあったから救われました」と利用者の方の言葉に、とてもうれしく感じ、ぐっと胸が熱くなりました。



なおしまキャップポートの皆さん本日はありがとうございました。町内の子どもたちのよりどころとして、これからも頑張ってください。私たちも応援しています。



明けておめでとうございます。昨年の直島、さすがアートの聖地「世界の直島」過去最高の入り込み。しかし、それは「日立新」「技術無限」と三菱直島を世界一に。また、瀬戸内の自然の中に数々のアート・美術館建築。それら先人たちの英知と発想と周囲の努力があればこそ。「温故知新」我々も手をこまねいてはいられない。さあ、外に出て見て発見しよう。

編集後記

- 広報編集特別委員会
- 委員長 井下 良雄
 - 副委員長 山上 英一
 - 委員 山下 玲子
 - 委員 小野 孝一
 - 委員 西岡 裕喜広
 - 委員 中根 清孝
 - 委員 浜口 敏夫

(井下 記)